

令和6年度「自転車交通事故多発地域」の指定について

1 現状

令和5年中の県内における交通事故発生状況については、発生件数が21,870件（前年比+3.7%）、負傷者数が25,644人（前年比+5.2%）と前年より増加となり、死者数については3人増加の115人であった。

県内の自転車が関係する交通事故については、発生件数、全事故に占める割合ともに近年横ばい状態であるが全国的にみると、自転車乗車中の交通事故死者数は減少傾向にある一方で、全事故に占める割合は増加傾向にある。

このため、自転車乗車用ヘルメットの着用と交通ルールの遵守を県民に促していくことが必要である。

区分		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全事故	発生件数	23,294	20,630	21,660	21,098	21,870
	死者数	132	140	142	113	115
	負傷者数	27,392	23,904	25,062	24,382	25,644
自転車事故	発生件数	5,445	5,039	5,424	5,393	5,436
	死者数	13	12	17	11	12
	負傷者数	5,301	4,844	5,206	5,195	5,192
構成率		23.3%	24.4%	25.0%	25.6%	24.9%

2 令和6年度自転車交通事故多発地域の指定

現状を踏まえ、令和5年中の自転車交通事故の発生が多い地域(市区町村を単位)を「自転車交通事故多発地域」に指定し、県は当該地域を中心に、県内各地域が実施する自転車交通事故防止対策への支援を行うこととする。

3 指定基準

(1) 自転車の交通事故の割合が高い市区町村

令和5年中の交通事故発生件数に占める自転車の交通事故発生件数の割合（構成率）が県内平均(24.9%)より3ポイント以上高い市区町村

(2) 自転車の交通事故による死者数が多い市区町村

令和5年中の自転車の交通事故死者数が2人以上の市区町村

4 指定地域（18地域）

(1) 3(1)の基準（構成率27.9%以上）に該当する地域（4市11区2町）

- ・ 横浜市 鶴見区、金沢区、瀬谷区（3区）
- ・ 川崎市 中原区、川崎区、幸区、多摩区、高津区、麻生区（6区）
- ・ 相模原市 南区、中央区（2区）
- ・ その他市部 茅ヶ崎市、平塚市、大和市、藤沢市（4市）
- ・ その他郡部 寒川町、開成町（2町）

(2) 3(2)の基準（死者数2人以上）に該当する地域（3区）

- ・ 横浜市戸塚区
- ・ 川崎市川崎区（重複）

- ・ 相模原市中央区（重複）

5 指定日

令和6年5月1日